

予算決算審査委員会 厚生文教分科会報告書

平成26年6月17日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

厚生文教分科会
主査 鵜 川 晃 匠

平成26年6月17日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第54号 平成26年度備前市一般会計補正予算(第1号)	—
報告第5号 専決処分(専決第10号 平成25年度備前市一般会計補正予算(第6号)) の承認を求めることについて	—

《 分科会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告第5号（市民生活部・保健福祉部関係） の審査	2
議案第54号（市民生活部・保健福祉部関係） の審査	3
報告第5号（教育委員会関係）の審査	4
議案第54号（教育委員会関係）の審査	5
閉会	10

予算決算審査委員会 厚生文教分科会記録

招集日時	平成26年6月17日（火）	厚生文教委員会休憩中		
開議・閉議	午前11時00分	開会　～	午前11時47分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中（第3回定例会）の開催		
出席委員	委員長	鶴川晃匠	副委員長	星野和也
	委員	橋本逸夫		津島　誠
		守井秀龍		立川　茂
		森本洋子		石原和人
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	田口健作		
傍聴者	議員	山本恒道		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	市民生活部長	有吉隆之	市民窓口課長	野道徹也
	税務課長	高山豊彰	収納推進課長	岡正千丈
	市民協働課長	眞野なぎさ	環境課長	藤原弘章
	保健福祉部長	金光　亨	福祉事務所長 兼臨時給付金対策課長	横山雅一
	保健課長	春名美郎	介護福祉課長	高見元子
	社会福祉課長	柴垣桂介	こども課長 兼幼保一体型施設建設推進課長	今脇誠司
	日生総合支所長	星尾靖行	吉永総合支所長	森本和成
	教育長	小林清子	教育次長	末長章彦
	教育総務課長	入江章行	学校教育課長	小郷康弘
	生涯学習課長	田原義大	公民館活動課長	山台智子
審査記録	次のとおり			

午前11時00分 開会

○鵜川主査 それでは、ただいまの御出席8名です。定足数に達しておりますので、これより厚生文教分科会を開会いたします。

直ちに当委員会に付託された案件の審査を行います。

***** 報告第5号の審査（市民生活部・保健福祉部関係） *****

まず、報告第5号専決処分（専決第10号平成25年度備前市一般会計補正予算（第6号））の承認を求めることについてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の審査を行います。

補正予算書をお開きください。

まず、歳入で16ページ、17ページをお開きください。

13款分担金及び負担金、14款使用料及び手数料で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に、16ページから21ページの15款国庫支出金の国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、22ページから25ページの16款県支出金の県負担金、県補助金で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、26ページから31ページの17款財産収入、物品売払収入、19款繰入金、21款諸収入、民生費雑入で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、収入全体で聞き忘れはございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に、支出に移ります。

32ページから35ページの2款総務費、総務管理費で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、34ページから37ページの2款総務費、2項徴税費、3項戸籍住民基本台帳費で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に、36ページから39ページの3款民生費、1項社会福祉費、2項老人福祉費で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、38ページから43ページの3款民生費、3項児童福祉費、4項生活保護費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、42ページから45ページの4款衛生費、1項保健衛生費、2項清掃費で御質疑ありま

せんか。

○星野副主査 保健衛生費の保健衛生総務費で、小児医療費と児童・生徒医療費、合わせて1,800万円が減額となっております。減額の理由を説明願います。

○春名保健課長 小児医療費、扶助費の1,786万2,000円の減額についてですが、25年度当初予算においては、月に1,000万円程度と見込み、年間1億2,320万円を見込んでおりました。しかし、実際には、月に877万円程度であったため、不用額を減額するものです。平成24年10月からの医療制度であり、年間を通じての医療費が読みづらかったこともありますが、1人当たりでいいますと、4,000円ほどの医療費が少なくなっております。

特に中学生の通院医療費が見込みよりも大幅に約800万円程度少なかったことが大きな要因であると分析いたしております。

○星野副主査 削減すればいいというものではないんですが、この前もコンビニ受診とかはしご受診による財政悪化という記事が新聞に出ていましたが、経費抑制に向けての啓発活動についてはどのように考えておられるのでしょうか。

○春名保健課長 出生数の減少とか医療費自体の減少要因もいろいろありますが、今後、慎重に推移を見ながら進めて、対応していきたいとは考えておりますが、先ほど言われたような対策は、今のところ特にはとっておりません。

○鵜川主査 ほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議案全体で聞き忘れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、報告第5号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、報告第5号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の質疑を終結いたします。

以上で報告第5号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の審査を終了いたします。

***** 議案第54号の審査（市民生活部・保健福祉部関係） *****

次に、議案第54号平成26年度備前市一般会計補正予算（第1号）についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の審査を行います。

補正予算書をお開きください。

まず、歳入で8ページ、9ページをお開きください。

19款繰入金、2項基金繰入金、21款諸収入、5項雑入で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、歳出に移ります。

12ページから13ページの2款総務費、1項総務管理費で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

ないようですので、議案第54号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第54号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の質疑を終結いたします。

以上で議案第54号についてのうち、市民生活部、保健福祉部関係の審査を終了いたします。ここで説明員入れかえのため、暫時休憩をいたします。

午前11時06分 休憩

午後11時16分 再開

○**鶴川主査** それでは、分科会を再開いたします。

議案の審査に先立ち、執行部より説明員の方の紹介をお願いします。

教育長から関係職員を紹介

***** 報告第5号の審査（教育委員会関係） *****

○**鶴川主査** それでは、報告第5号専決処分（専決第10号平成25年度備前市一般会計補正予算（第6号））の承認を求めることについてのうち、教育委員会関係の審査を行います。

補正予算書をお開きください。

まず、歳入、18ページから21ページの15款国庫支出金、1項国庫負担金、教育費国庫負担金、2項国庫補助金、教育費国庫補助金で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、24ページから27ページの16款県支出金、2項県補助金、教育費県補助金、同じく3項県委託金、教育費県委託金で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、26ページから27ページの17款財産収入、物品売払収入で御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、28、29ページの21款諸収入、3項貸付金元利収入、奨学金貸付金元利収入で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

収入全体で聞き忘れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移ります。

52ページから53ページの10款教育費、1項教育総務費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、52ページから55ページの10款教育費、2項小学校費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、54ページから57ページの10款教育費、3項中学校費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、56ページから57ページの10款教育費、4項高等学校費、5項幼稚園費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、58ページから61ページの10款教育費、6項社会教育費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、60ページ、61ページの10款教育費、7項保健体育費で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

審査の範囲は、以上ですが、議案全体で聞き忘れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、報告第5号についてのうち、教育関係の質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、報告第5号についてのうち、教育委員会関係の質疑を終結いたします。

以上で報告第5号についてのうち、教育委員会関係の審査を終了いたします。

***** 議案第54号の審査（教育委員会関係） *****

次に、議案第54号平成26年度備前市一般会計補正予算（第1号）についてのうち、教育委員会関係の審査を行います。

補正予算書をお開きください。

まず、歳入、8ページ、9ページの16款県支出金、3項県委託金、教育費県委託金で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、8ページ、9ページの21款諸収入、5項雑入で御質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、歳出に移ります。

14ページから17ページの10款教育費、1項教育総務費、4項高等学校費、6項社会教育費、7項保健体育費で御質疑ございませんか。

○橋本委員 17ページ、教育用タブレットリース料が1,392万円の減額となっております。これは、当初リースの開始が6月であったものが、どうも10月にずれ込むということによるものなんでしょうが、その場合、小学校1年から中3までということになると、例えば中学3年生については、残された期間がほんのわずかしかないと。それでもやはり中3まで拡大をすることを考えておられるんですか。

○小林教育長 詳しい説明は担当がいたしますが、それに先立ちまして委員の皆様へ一言。本会

議で申し上げればよかったのですが、タブレット端末の導入につきましては、前回、委員の皆様大変御意見をいただきまして、それが後押しとなりまして、今回、補正が組まれましたようなことになっております。そのことについて、まず、お礼を申し上げたいと思います。貴重な御意見をありがとうございました。

○入江教育総務課長 教育用タブレットのリース料の件でございますが、できるだけ早い時期で考えておったんですけれども、無線LANの環境等をあわせて考えるようにということで、委員会の皆様方の後押しもありまして、軌道修正した関係でおくれております。ただ、中学校の3年生も2学期の早いうちに入ればなあというふうに思っております。

○橋本委員 私、改選前の総務文教委員会に所属しておいて、このタブレット端末の導入をめぐって賛否両論いろいろありましたが、その際には、Wi-Fi、つまり無線LANには接続しないだと、6月ぐらいの導入をということで、私、あっちこちで子供たちに6月になったら1人に1台ずつタブレットが来るよということで、一生懸命宣伝をしたんですよね。もうまるっきりうそついたことになるわけです、10月ということで。このWi-Fi、つまり無線LANにどうしてもつなげるというのは誰が言うんですか。当時の総務文教委員会ではそんなことをすべきだという意見は余りなかったように私は記憶しとんですよね。もしそれがあれば、当初予算案が修正されるわけです。これじゃあ不完全だと。だから、Wi-Fiの機能をどうしてもつけようということで修正されてなっておったんだろうと思う。だけど、当初の計画を我々議会は認めたわけですから、それを執行部が勝手にWi-Fiの機能をつけよう、あれもしよう、これもしようで導入の時期がおくれるっていうのは、ちょっと理解に苦しむんですけれども、いかがでしょうか。

○入江教育総務課長 確かにスタンドアローン形式でタブレットの本体のみを導入するということが当初予算を御提案し、その中で委員会でも早いうちに無線LANの環境を整えてほしいというような御意見を頂戴いたしたところでございます。タブレット自体は、早々にでも契約のほうをするように頑張っておるところなんですけど、2,700台程度になっております、子供の数が120人減りましたので2,700台程度になっておりますが、このロット数の納期というのはかなりかかるようでございます。

お答えになったかどうかちょっとわかりませんが。

○橋本委員 余り答えになっとらんのですよ。当初予算を審議したときには、相当な数量だったわけです。それでも6月ぐらいの導入でいけるんだということで、あっちこちで6月になったら学校から貸与してもらえよということ言うわけですね。それが10月に伸びる。

もう一つは、ちょっと観点が変わりますけれども、今、中学校3年生は10月からだと、使用期間はもうほんの残りわずかですよ。それで、次年度には、平成27年度には、大体児童・生徒数が全体で100人ぐらい減るんだということも前の委員会でお聞きしとんです。なれば、もう少しおくらせて、いっそのこと10月みたいな変なときじゃなくって来年の4月1日から渡せるように、100台減らした状態で契約をするというようなことは考えられなかったのか。途中で

渡して、もうほんのわずかで、はい、もう返してくださいという格好になろうかと思えるんで。これ、ちょっと観点が違うんです。だけど、本当に何で6月に支給ができなかったのか、私は大いに不満なんですよ、これは。Wi-Fiの機能を後から整備せよと、環境を整備せよというのは確かに委員会でもありました。それは別の問題でしょ。先にハードを渡しといて、後からそういう環境整備をすることだってできるわけでしょ。何で6月導入がおくれたのか、もう少し明確に。生産が間に合わんわけですか、二千数百台ですか。そこら辺ちょっと。

○入江教育総務課長 これは、メーカーサイドではないのであれなんですけれども、納入の状況を見ますと、少なくとも相当な日数がかかるというようなことを業者さん、たくさん営業に来られますので、その方々にお聞きしますとそういうところがあります。また、我々としては、そのタブレット自体をできるだけ安くするために、ここで、まずはウィンドウズということであればマイクロソフトということでございまして、日本マイクロソフトの本社は品川にございます。そちらのほうへも出向きました。その際に、ありがたいことにウィンドウズのOS、今は8ですが、8のライセンス料、これを備前市に、そのロット数によるんですけれども、納入する場合には、安く、アカデミックバージョンというものを適用してあげようというようなありがたいお話を4月の末ぐらいにいただきました。これによって、ウィンドウズであれば単価は、通常OSを家電で買えば2万円弱すると思いますが、それが半値ぐらいになるというようなところもありまして、決まったのは5月の連休明けぐらいに米国本社と日本マイクロソフトで、我々のところは13校の小学校と5校の中学校に入れるんだと、このくらいの数量にはなりません、全てがマイクロソフトになる、ウィンドウズになると、これはまた別なんですけれども、そういうふうなお話をする機会に恵まれて、そういうことも作業がおくれた要因にはなっております。

○橋本委員 当初予算を審議したときに1年間のリース料が6,000万円、それで債務負担行為が1億2,000万円、あと残りの2年ということで、3年ということでの当初の予定でした。それで、そのときのじゃあ明細というんですかね、ハードを購入するのにこういう金額がかかると、それが安くしてもらえるんだということで、それが幾ら下がったのか、そこら辺をやはり数値で我々に示してほしいですね。もう何かわけのわからん格好で予算を認めえということ、余りにもちょっと横暴過ぎるんじゃないですか。どうでしょうか。

○末長教育次長 先ほどOSのことを一部お話いたしました。市といたしまして、教育委員会といたしましていいものをできるだけ安価に受けようという努力をしたというのが1点あります。しかし、基本的におくれた理由でございまして、スタンドアロンで各児童・生徒のもとに使える状態で届けようとした場合に、ただ物が入ってくるだけでも困るんです。それぞれに使えるためのプログラムを入れるという作業をしてもらってから入らないとだめだということになります。じゃあ、どのプログラムがいいんだ、アプリケーションはどんなのがいいんだということ、学校の先生のほうに問い合わせもいたしました。それらを踏まえて入れようということで、若干スタートが遅くなったというのは事実あります。最初に機械だけ発注すればすぐ来るんだという気持ちもありましたが、これは、先ほども申しましたように、出入りの業者さん等にお話をしま

して、ウィンドウズでも1,000台超えるようなもんだったら3カ月ぐらい見ないとだめだよ。iOSならもっともっと時間かかるかもしれないよというような情報。そのときに、2月の時点で我々になかった情報というものがそこでわかりましたので、機械を入れるだけでも大変、さらにその機械にフリーインストールするアプリケーションのことも決めないといけない。また、入れないといけない。とても時間的に間に合わないなあ、どうしよう、どうしようというふうに考えている際に、いろいろなところから御提言がございました。一個一個に入れていくのはかえって効率が悪いよ。それなら、双方向のシステムをつくったほうがかえって早いんじゃないかというようなことで、本当にこちらの委員会でも双方向になってなかったらタブレットの本来の意味がないんじゃないかということも御提言いただいたと聞いております。それらを合わせた場合に、じゃあ少し遅くなるかもわからないけど、この10月に全てソフトも自由に入る、それでお手元のほうに行きすぐ使えるようになる。そういうシステムと切りかえをさせていただいたほうがいいのではないかということで、こういう補正をさせていただくとところです。

○橋本委員 いずれにしても、当初予算で賛否両論ある中で通過したこの予算が、わずか3カ月後はかなり大幅に補正をするということは、ちょっと執行部の準備不足というんですか、最初にもっと十分に検討してこの導入にかかったということであるならばええんですけれども、どうもころころ、ころころ変わりようる。それが、我々議員にはなかなか伝わってこない。議員選挙もありましたけれども。私は、今回の予算案を見て、何じゃこれはということで、今まで総務文教委員会で審議してきたことが何だったんだろうかというふうに思えてきたわけです。だから、今後はそういうことのないように。

それと、次の債務負担行為のところでも聞こうかと思おうたんですけども、もうこの際、そういう一連のものがどういう内訳が変化になってこれだけ、債務負担行為は増額ですね、この予算は減額ですけども、リース期間が短くなるからということですよ。だから、そういうものを我々に数字として明細を、内訳を見せてほしいなと思います。いかがでしょうか。

○入江教育総務課長 業者での見積もりということであれば可能な部分があるんですが、その中でかなり圧縮した予算でございますので、1億8,000万円ももちろんそうなんですが、準備をしてお示しをするようにしたいと思います。

○橋本委員 圧縮ということは、相当厳しい査定で、向こうが、例えばこれだけ欲しいんだけど、いやいや、そんなにも出せない、もっとこれ、圧縮してというような格好で組んだ予算だということでしょうか。

○入江教育総務課長 私どもにとっては、そのような予算でございます。

○橋本委員 そうすると、若干余裕を持って見積もったら、これよりももっとふえてしまうということになるのでしょうか。

○入江教育総務課長 本会議の質疑でも教育長からお答えをさせていただきましたが、タブレット本体もそうです、無線LAN環境の必要な時期についてもそうございまして、おっしゃるとおりの形になります。

○橋本委員 はい、私は以上でいいです。

○星野副主査 同じ事務局費の人材派遣業務委託料907万2,000円、ICT支援員の派遣業務なんですけど、これ、何人で何日分ぐらいを予定されているのか教えてください。

○入江教育総務課長 ICT支援員4人の月8回で3カ月分という予算でございます。

○鶴川主査 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、次に、4ページの第2表債務負担行為補正で、御質疑ございませんか。

星野委員。

○星野副主査 これにアクセスポイントの設置が含まれるという質疑の答弁でしたが、このアクセスポイントの設置で学校のどれぐらいの範囲がカバーできるのでしょうか。

○入江教育総務課長 本年度、全小・中学校の普通教室と特別支援教室の学級数が125学級でございます。125学級ではつながるようなアクセスポイントにしたいと考えております。

○星野副主査 たしか改選前の総務文教委員会だったと思うんですが、年度末までに無線LANの調査をして、今後、無線LANの整備どうするか考えるという話だったと思うんですよ。そのときの予算が大体、何千万円単位じゃなくて、何億円単位でかかるんじゃないかという話だったんですけど、それにしても今回は今回安過ぎるんじゃないかと思うんですけど、そのあたりどういふことなんでしょうか。

○入江教育総務課長 アクセスポイントについては、固定式で全てを網羅したようなところで考えておまして、そういう調査も行っておりますが、今回、無線LANのアクセスポイントについては、いわば可動式、コンセントに差して、教卓なりで置いて、各タブレットをネットワーク化するというようなものを考えております。機器についても、そういうことで圧縮ができるということで考えたものでございます。

○星野副主査 それでは、今後、無線LANの整備にお金はかからないということでしょうか。

○入江教育総務課長 無線LANそのものについては、タブレットがつながるという意味では大丈夫なんですけど、通信帯域、いわば通信速度の話です。タブレット自体は、お使用の議員さんもおられますけれども、指なりスタイラスペンというペンで押せばすぐ反応するという速度が基本的にはインターネットの世界でも必要だと思いますが、それまでを全て2,700台が一遍にさわって、そういう携帯電話でつながるような、ああいう速度になるかどうかは、この予算では保証ができません。ただ、OS、ウィンドウズならウィンドウズのアップデート、そういうものが十分に可能なレベルじゃあないかなというふうに思っております。

○星野副主査 たしか平成25年度だったと思うんですが、債務負担行為で教員用パソコンとパソコンルームのパソコンをやり変えたと思うんですよ。そのときのOSは何でしたか。

○入江教育総務課長 現在、学校に入っております教育用パソコンのシステム、各端末はウィンドウズ7です。

○星野副主査 わかりました。

○橋本委員 先ほど答弁された通信速度の問題ですね。これらを双方向通信にしても、かなりの時間がかかって、なかなか使いもんにならんよという言われ方をされた経緯があるんですよ。今、物すごく不安な説明なり答弁だったんですけど、そこら辺はやはり解消できないんですか。解消するためには、もっともっとたくさんの費用をかけにやあならんということですか。

○入江教育総務課長 タブレット自体を使つての学習に対して、インターネット、いわゆる外へ出ていく、この回線は、備前市の情報ハイウェイを教育委員会が間借りした形でやる計画です。これについては、一切、費用を伴わない形の予算です。それは、どうしてももう速度的に無理だというのは完全にわかっています。ただ、つながらんことはない。今でもパソコンルーム、13校と5校の18校のパソコンルームでは、その線を使って外へ出ていく場合、十分に授業としては可能です。2,700台が一遍にいくと、そこは市役所の職員の業務もそれを使用していますので、滞りなくというわけにはいかないと思います。それを解消するためには、市役所の裏に情報政策課があるんですが、そこへ教育用のサーバーがあります。そこへコンテンツを置いておけば、外へ出ていかずに市内だけで回れるというところで使い勝手を考えております。

○橋本委員 すると、ちょっと観点を变えて、債務負担行為補正の補正後の期間なんですけれども、リース契約が3年ということで、導入が本年の10月ということになると、これは27年から28年度と、補正後の期間が。これは29年度までまたがってくるんじゃないかなというふうに思えるんですけれども、いかがでしょうか。

○入江教育総務課長 はい。我々もそのようには思ったんですが、査定等々で30カ月という形での整理をさせていただいております。

○橋本委員 じゃあ、リース期間が当初の36カ月じゃなくって30カ月で切るということでええんでしょうか。

○入江教育総務課長 現在、そのように考えております。

○橋本委員 はい、了解です。

○鵜川主査 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上ですが、歳入、歳出全体で聞き忘れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第54号についてのうち、教育委員会関係の質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第54号についてのうち、教育委員会関係の質疑を終結いたします。

以上で議案第54号についてのうち教育関係、教育委員会関係の審査を終了いたします。

以上をもちまして厚生文教分科会の審査を全て終了いたします。

午前11時47分 閉会